

教科書ワーク

答えとてびき

光村図書版

国語 5年

「答えとてびき」は、
とりはずすことが
できます。



使い方

まちがえた問題は、もういちどよく読んで、なぜまちがえたのかを考えましょう。正しい答えを知るだけでなく、なぜそうなるかを考えることが大切です。

かんがえるのって おもしろい
名前を使って、自己しようかい

銀色の裏地
図書館を使いこなそう

2・3ページ

基本のワーク

- ① そうぞう ② けいけん
 ① 想像 ② 経験
 たなかみずき
 ③ かんがえる

- ④ 2
 ① きもち・まえよりもっと すきになる
 ア・エ
 ② ウ

4 1 「かんがえる」ことは、「どこかとおく
 へいく」ことのようで、「おもしろい」

と言っています。

2 初めての土地に行くと、初めて見る景色

に出会えます。同じように、知らなかつた

ことについて考えると、新たな物事が見え
 るようになつてくるのです。

3 「しらないきもちが かくれてて／まえ
 よりもつと すきになる」と続きます。人

とけんかをすることと、かくれていた気持ちがはつきりして、前よりもっとその人のことを好きになるので、「けんかするのも いいみたい」だというのです。

4 「このきょうしつは／みらいにむかって
 とんでいる」、「このがつこうは／みんなの
 ちからで そだつてくる」から、作者の
 「がつこう」についての考えが読み取れます。

6 だからってそれでいいってことにはならない

える。

(1) 例 あかねや希恵に自分の気持ちを分
 かってもらえてうれしい（気持ち）。

(2) うかんだばかりのえみが、たちまち消
 える。

1 ① しんじょう ② いんじょう ③ ぜつたい
 ④ あつ ⑤ しょう ⑥ しょうじょう
 ⑦ よろこ ⑧ りかい ⑨ ないよつ
 ⑩ ぎじゅつ ⑪ てきせつ ⑫ きよか

- 2 ① 厚 ② 賞状 ③ 喜 ④ 内容 ⑤ 技術
 ⑥ 許可
 ⑦ ア
 ⑧ ウ
 ⑨ ア
 ⑩ イ
 ⑪ ウ
 ⑫ ウ
 ⑬ ふくすう

3 内容をつなげよう！
 (順に) イ→ウ→ア

- 4 ① ア ② イ ③ ウ ④ ア ⑤ ア ⑥ ウ

6 4・5ページ
 基本のワーク

6・7ページ

練習のワーク 1

1 ① あかね ② 希恵 (1・2順序なし)

3 理緒

ア

例 理緒の学校はどの学年も二クラスだから、三人が一人ずつになることは絶対にないこと。

2 頭・心

例 あかねや希恵に自分の気持ちを分かってもらえてうれしい（気持ち）。

1 1

てびき

——①の直後に「不満をぶちまけた」とあります。理緒が不満でいっぱいだったことが分かります。イ「こまりはてる」は、「ぶちまけた」という、あらあらしい様子には合いません。

4 理緒は、三人がそれぞれ別のクラスになることはありえないと頭(=理性)では分かっています。しかし、心(=感情)では受け入れられずにいます。

(1) 「理緒の気持ち、すごく分かる。」と言われ、理緒は「分かつてくれるんだどうれしくて」えみをうかべました。

(2) 「えみがうかんだ」→「えみが、たちまち消える」という対比的な表現から、理緒のうれしい気持ちがすぐに消えてしまったことが読み取れます。

6 あかねと希恵は、これからも遊べるのだからいいではないかと言っています。これに対して理緒は、「それでいいってことにはならない」と心の中で反発しました。理緒にとっては、三人が同じ立場でいることが重要なのです。

7 理緒の気持ちが分かると言っていたあかねと希恵ですが、理緒の本心は分かっていないようです。仲よし三人グループだったはずなのに、クラスだけでなく気持ちのうえでもはなればなれになってしまったようで、理緒はさびしさやつまらなさを感じています。

8・9ページ

練習のワーク②

土田・おいしそう・楽しそう

イ

(2) (1) 例すなおに喜べなくて、そんな自分にもやもやする気持ち。

(1) (2) 例おこつてているような、こまつてているような(そんな)顔。

ウ

4 例したけを、これはまだ食べたことのない、世界一おいしいものだと想像している。ア 例何度もなぞきながら答える様子。

2 (1) 例理緒にとって、高橋さんが全然つんづんしていなのは、「発見」でした。それまでは、「つんとすまして」(教科書28ページ11~12行)話しかけにいく――そんなふうに思いこんでいたのです。

(2) ——①の直後をまとめます。すなおに喜べない理由は理緒自身にも分からぬようですが、あかねと希恵との関係もえいきようしていると考えられます。文末は「……もやもやした。」でも正答です。

10・11ページ 基本のワーク

漢字の成り立ち

6 文章にえがかれている、高橋さんの行動や表情、発言などの全てから総合的に考えます。高橋さんは、給食をおいしそうに食べ、楽しそうにおしゃべりをしています。ここから、元気ではつらつとした性格が読み取れます。

また、「したけが入っていたから」と聞けば「わたしも苦手」と共感し、どう乗りこえるのかをひろうしました。それが他の人の参考になることを願っている様子も読み取れます。ここから、周りを気づかう思いやりのあれる人物であることも分かります。イは「負けずぎらいな」が合いません。ウは「はずかしがりやで」が合いません。

れはまだ……の「これ」が「しめたけ」を指していると分かるようになるとめましょう。文末は「……想像すること。」でも正答です。

3

10 11 ページ 基本のワーク

1

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290</div

(2)

例 こまつたことや、いやなことがあつても、いいことはちゃんとあるということ。

4 3

(1) とてもすてきなことだ

例 今朝お母さんが、くもり空なのに「今日もいい天気。」と言つたこと。はずむような声が出ていた。

① イ ② エ ③ ウ ④ ア

てびき

2 (2)

高橋さんは、「銀色の裏地」という言葉が表す内容を説明した後、この言葉がどういうメッセージをもつもののか話しています。このとき早口になつたのは、このメッセージをさりげなく理緒(りお)に伝えたかったからなのでしょう。

3

高橋さんの「こまつたことがあつても、いやなことがあつても、いいことはちゃんとあるんだって」という言葉を聞いて、理緒は「もしかして、わたしの気持ちに気づいていたの。」と思いました。高橋さんは理緒に何かいやなことがあつたのだと気づき、いいこともあるよ、とはげましてくれたのかもしれない——理緒はそう思つたのです。

4

(2) 「銀色の裏地」とは、くもり空でも銀色にかがやいてる雲の裏側であり、いやなことの中にも必ずある「いいこと」です。理緒はこのあと、今朝のお母さんのおもしろい発言を思い出しています。

2

② 「板」は「反(ハン)」、「味」は「未(ミ)」が音を表す部分です。

③ 「男」は、「田」んぼで「力」仕事をする人という意味です。

4 1 「絵が上手」「学級委員」「ピアノを習っている」という三つの話題の中から、そこから広げた「きっかけ」「目標」についての質問を考えます。

2 初めに話し手のことをしようかいし、次に話題の中心になつたことを報告し、最後に感想を話しています。

きいて、きいて、きいてみよう

16・17 ページ

基本のワーク

1

① しつもん ② ほうこく ③ しょぞく

2

① 質問 ② 報告 ③ 所属 ④ 意識

3

① ア○ ② ア○ ③ イ×

4

① ア○ ② イ× ③ ウ×

2 1 例 ピアノを習うようになつたきっかけ

① ウ ② ア ③ イ

てびき

3

① 話し手の答えを聞きながら、質問の順番を変えたり、質問をその場で加えたりすることによって、より生き生きとしたインタビューになります。

② 話し手は、きき手が知りたいことに最初に答えます。

③ 言葉を全て書きとめるのではなく、要点をメモするようにします。また、聞き取れなかつたことは、きき手や話し手に後できて確かめます。

4

1 「絵が上手」「学級委員」「ピアノを

習っている」という三つの話題の中から、

「ピアノを習っている」という話題を選び、そこから広げた「きっかけ」「目標」につ

いての質問を考えます。

練習 見立てる／言葉の意味が分かること

18・19 ページ

基本のワーク

1

① げんいん ② せいぶ ③ まるた ④ つく

2

① に ② かぎ ③ りゆうがくせい

3

① ひょうげん ② ちよくせつ

4

① 原因 ② 造 ③ 似 ④ 限 ⑤ 表現

5

直接

6

手になつた。

7

① 毎日練習することによって、ピアノが上

8

② おなかがいたくなつた。それは、ケーキ

9

を食べすぎたからだ。

10

③ 夜ふかししたせいで、授業中にねむくなつた。

内容をつかもう!

(見立てる) イ

（言葉の意味が分かること） イ・ウ・ア

てびき

- ① 「……によつて」、② 「……からだ」、
③ 「……せいで」の前が「原因」です。

20・21
ページ

練習のワーク1

あるものを別のものとして見る
想像力

想像力・(1) 見立てる (2)
作った形・実在するもの

- 7 6 5 4 3 2 1
(1) ア (2) イ
(3) ウ

てびき

① 段落に、「見立てる」とは、……
ことである」と説明されています。

5 すぐ後に「……からだ」と原因がのべら
れています。

6 ④ 段落は、同じ形のあや取りにつけられた
名前が日本各地でちがっている例です。⑤ 段
落は、同じように世界各地でもちがっている
例です。筆者は、複数の具体例を挙げて、自
分の考えに説得力をもたせてています。

7 ① ② ～⑤ 段落は、あや取りの例です。さ
らにそのうちの④・⑤段落は、③段落の具
体例になっています。

(2) この文章は、「話題と考えをしめす」↓
「例を挙げて説明する」という構成になつ
ています。

22・23 ページ

練習のワーク2

どこまで使えるのか
かんじやつた・ふんじやつた

5 4 3 2 1
イ
広げすぎた
例1 日本語では、スープは「飲む」と表現
することが多いため。
例2 日本語では、スープを「食べる」とは
あまり表現しないため。

- 7 6 5 4 3 2 1
イ・ア
イ

てびき

この文章は、前半で小さな子どもの言いまち
がい、後半でアメリカ人留学生の言いまちがい
の事例を挙げています。どちらも、言葉を学ん
でいくときに起きる事例です。

1 直前の一文「一つの言葉がどこまで使える
のか、……確かめることはできません。」の
中に、「言葉の意味のはんい」を言いかえた
言葉があります。

2 直前の部分から、どんな言いまちがいかを
読み取ります。

3 「『ふむ』も『かむ』も、……似た意味の言
葉である」とのべられています。

4 直後に「自分が覚えた言葉(=「ふむ」)を、
別の場面(=「かむ」がふさわしい場面)で
使おうとしてうまくいかなかつたこと」が原
因だとあります。つまり、「ふむ」という「言
葉の意味のはんいを広げすぎたこと」が原因
です。

6 「食べる」を「eat」と同じ感覚で使つ
たため(=原因)、「スープを食べる」という
言いまちがいが起きたのです(=結果)。
7 英語では、ものを食べる動作を表す「eat」
をスープに使いますが、日本語では「スープ
を食べる」とは言いません。このように、英
語の「eat」は、日本語の「食べる」以外
の意味で使われる場合もあるのです。

24・25
ページ

基礎のワーク

敬語

5 4

- 1 おう 2 おおぜい 3 ひょうが
4 れきし 5 しんかんせん 6 まね
1 大勢 2 歴史 3 新幹線 4 招
1 ア 2 イ 3 イ 4 ウ 5 ウ
1 けんじょう語 2 尊敬語
3 ていねい語
1 ア 2 イ 3 ア
1 いらつしやるそうです
2 うかがいました

- 3** ③ いたきました
④ おつしやつた
- 1** 例 お持ちする
2 例 お話しになる
(または話される・おつしやる)
- 3** ② 敬語は、その動作をだれがするのか、
と考へると、分かりやすくなります。目上の
相手の動作なら尊敬語、自分や身内の者
の動作ならけんじょう語です。ていねい語
は「です」「ます」「ございます」などです。
- 2** ② 「いらっしゃる」は「中村様」の動作で、
尊敬語です。
- 3** ③ 「お手紙」は先生が書いたものなので、
尊敬語です。
- 4** ④ 「ごあいさつする」は、母という身内の
者の動作で、けんじょう語です。
- 5** ⑤ 「いただく」は、ここでは「もらう」と
いう意味です。自分の動作で、けんじよ
う語です。
- 6** ⑦ 「帰られる」は先生の動作で、尊敬語です。
- 7** ① 「お——する」という言い方は、けん
じょう語です。
- 8** ② 「お——になる」という言い方は、尊敬
語です。
- 9** ③ 「——ます」という言い方は、ていねい
語です。
- 10** ① 自分の動作なので、けんじょう語の「う
かがう」を使います。「いらっしゃる」は
「行く」の尊敬語です。

- 2** ② 「招く」は自分の動作なので、けんじょう
語の「お招きする」を使います。
- 3** ③ 「書いた」は先生の動作なので、尊敬語の
「お書きになった」を使います。
- 4** ① 「いる」は先生の動作なので、尊敬語に
直します。「いる」の尊敬語は、「いらっしゃる」
です。
- 5** ② 「きく」は自分の動作なので、けんじょう
語に直します。「きく」のけんじょう語は、
「うかがう」です。
- 6** ③ 「食べる」は自分の動作なので、けんじよ
う語に直します。「食べる」のけんじよう
語は、「いただく」です。
- 7** ④ 「言う」は先生の動作なので、尊敬語に直
します。「言う」の尊敬語は、「おつしや
る」です。
- 8** ① 「けんじょう語に直すには、「お——する」
という形にします。
- 9** ② 尊敬語に直すには、「お——になる」、「——
れる（られる）」という形にします。

26・27 ページ まとめのテスト

言葉の意味が分かること

敬語

- 1** 1 日本語：いくつかの言葉
韓国語：分け方
中国語：全てちがう言葉

- 1** ① おむかえする
② くださつた
③ ご入学
- 2** ① 一つ目の段落で、日本語・韓国語・中
國語の言葉の言い表し方のちがいがのべら
れています。
- 3** ② 前の文で、「物や様子、動作と、言葉と
を、一対一で結び付けてしまいかがです」
とのべられています。
- 4** ③ 前の文に、「言葉の意味には広がりがあ
り、言葉を適切に使うためには、そのはん
いを理解する必要があります」とのべられ
ています。
- 5** ④ 直前に「これらの例は」とあるので、そ
の前から二つの事例を読み取ります。一つ
は、「『かむ』と『ふむ』が似た意味の言葉
だ」と考へることで、もう一つは、「どう
してステップは『食べる』ではなく、『飲む』
というのか」と考へることです。
- 6** ⑤ 「言葉の意味は面である」という内容は、
文章中にくり返し出されます。筆者がこの

内容をくり返す意図を読み取りましょう。筆者は、「言葉の意味は面である」と考えることで、「わたしたちが自然だと思つているものの見方が、決してあたりまえではないこと」に気づかせてくれるということを言いたいのです。

6 この文章の要旨になることは、文章の後半にのべられています。

一つは、「言葉を学んでいくときには、言葉の意味を『面』として理解することが大切になる」ということ、もう一つは、「言葉の意味を『面』として考えることは、ふだん使つている言葉や、ものの見方を見直すことにもつながる」ということです。

2 ①自分の動作なので、「お——する」といううけんじよう語に直します。

②先生の動作なので、「くださら」という尊敬語を使つて直します。

③物事を表す言葉に「お」や「ご」を付けて、相手への敬意を表します。

28・29ページ 基本のワーク

日常を十七音で 漢字の広場① 四年生で習った漢字

- 3 ①く ②にちじょう ③じゅんじょ
- 1 句 ②日常 ③順序
- 1 季節 ②分類 ③戦争 ④便利 ⑤要望
- 6 参考書 ⑦借 ⑧説明 ⑨静 ⑩席

4	1	11 区別	12 極力
(1) 季語：鯉のぼり	(2) 空の長さ	季節：夏	すずらん・風

- ①せみ 〈または蟬〉 ②鳴く
チチボボ

4 1 てびき

五月に立てる「鯉のぼり」は、「夏」の季語です。作者は、なんんだ鯉のぼりを見上げて、「空の長さ」を感じています。なお、「日本の」は、「にほんの」ではなく「にっぽんの」と五音でよみます。

2 すずらんの花は、すずのような形をしています。その花が風にゆれている様子を、「リリリリリリ」とすずが音を立てるようなかろやかな調子で表現しています。すすきのほは軽そうに見えます。ところが、折り取つて手に持つと、そのほには思つたよりも重みが感じられたのです。その意外な気持ちを「はらりとおもき」と表しています。また、この俳句は全て平仮名で書かれています。これにより、すすきのほのやわらかさが表現されています。

4 月と花（桜）の美しい夜に鼓の音がひびく様子を、「チチボボ」という特徴のある表現を用いて表しています。
Eの俳句の最後には「せみ」という言葉が、Fの俳句の最後には「鳴く」という言葉が置かれています。ここでは、最後に置

かれた言葉が、作者の注目したものと表す働きをしています。

古典の世界（一） 「情報」目的に応じて引用するとき

- 1 ①こてん ②ぶし ③しりょう
4 ④ちようさ

- 1 ①古典 ②武士 ③資料 ④調査
2 ①イ ②ウ ③イ
(順序なし) ①イ・イ・エ ②イ・ウ
6 ①ウ ②イ ③ア
5 ①ウ ②ア ③イ
4 ①ウ ②ア ③イ

4 1 てびき

①「竹取物語」は、平安時代の初め（九〇一年ごろ）に書かれたとされる物語です。日本で最も古い物語といわれ、作者は分かつていません。

②「平家物語」は、鎌倉時代の初め（一一四〇年ごろ）にまとめられたとされる作品です。作者は分かつていません。

5 ①「方丈記」は、鎌倉時代の初め（一一一二年）に書かれた作品で、作者は鴨長明です。
②「徒然草」は、鎌倉時代の末から室町時代の初め（一二三一年ごろ）に書かれた作品だとされ、作者は兼好法師です。

30・31ページ 基本のワーク

6 1 ②引用するときは、元の文章を一字一

句まで正確に書き写します。

③引用するときは、何の本から引用したか

が分かるように、出典となる本の情報(筆

者名、書名、出版社名、発行年、ページ)

を記録しておきます。インターネットで

調べた場合は、ウェブサイト名、そのサ

イトを見た日付などを記録しておきます。

32・33
ページ

練習のワーク

1

(1) 「さぬきのみやっこ」
例 竹林の中に、根元の光る竹が一本あつたこと。

(2) (1) (1) (4) (3)

九センチメートルぐらい

(5) (4) (3) (2) (1) ウ

音 諸行無常

ア 春の夜の夢

イ

2

(1) (1) (4) (3)

竹取の翁の名前は、「名をば、さぬきのみやっことなむいひける。」から分かれます。

(2) 竹林の中に一本だけ他とはちがう、根元が光る竹があったので、翁は不思議に思ったのです。

(3) 「三寸ばかりなる人」の現代語訳に当た

てびき

1

34・35

ページ

まどみのテスト

1

2

絶えること・同じ水

(2) (1) (3) (2) (1)
イ

するところがなく、たいくつである
とりとめもないこと・書きつけて
います。

る部分を書きなきます。

(4) 「うつくし」は「かわいらしい」、「みたり」は「すわつていた」という意味です。

現代語とは意味がちがうので注意しましょう。

(1) 現代語訳に「鐘の音」とあります。

(2) 「諸行」は「全ての物事」、「無常」は

「変わらないものはなく、あらゆるもののは

変化し続ける」という意味を表す言葉です。

(3) 現代語訳に「おごり高ぶる人」とあります。「おごる」は思い上がりつい気にな

ることをいいます。

(4) 「春の夜の夢」は、はなやかではあるけ

れど、長くは続かず、はかないものたとえとして使われます。

(5) 「たけき者もつひには滅びぬ」は、現代

語訳で「強い者も最後には滅びる」とあります。この「平家物語」の内容は、「勢い

のさかんな者」も、「おごり高ぶる人」も、「強い者」も、全ていつかは消え去ってしまう、というものです。

(3) ウ
(順序なし)

江戸時代かそれ以前に建てられて、現在まで残っている天守は、国内に十二しかいません。

松本城、犬山城、姫路城などが有名で、国宝や国の重要文化財に指定されています。

てびき

1

2

「またかくのごとし」は、「これと

同じだ」という意味です。「これ」は、

前でのべられている「川の流れ」と「あ

わ」を指しています。どちらも、ずっと

同じままではなくうつりゆくものだとあ

りました。作者は、世の中の人間も住居

も、川の流れやあわと同様に、はかない

ものだと感じています。

2

(2) 作者は、することがなくたいくつな

ので、一日中窯に向かって、心に浮かぶ

ことを文章に書いています。そうしてで

きた作品が、「徒然草」だということです。

(3) 「ものぐるぼし」は、「心がみだれて、落ち着かないさま」を表します。文章を

書いているうちに、気持ちが高ぶってき

たのです。

「江戸時代かそれ以前に建てられて、現在まで残っている天守」と、「明治時代以後に再建されたもの」について書かれています。

ここから、前者について書かれている部分を引用します。

3 風が吹いて「涼しく」感じられるのは、夏が終わりに近づいているころです。

4 「どの子にも」とあるので、子どもは一人ではなく、何人かいることが分かります。

子どもたちが涼しい風に吹かれて、気持ちよさそうにしている様子を表しています。

5 「西日」は、西の空にかたむいた太陽やその光のこと、特に真夏の夕日を指します。

みんなが使いやすいデザイン 同じ読み方の漢字

42・43 ページ

まとめのテスト

1

1 センサー式（の）じゃぐち

（またはセンサー式で、手を差し出すだけで水が出てくるじゃぐち。）

2 調べ方（または調べた方法）

① インタビュー

② 本やインターネット

4 （）体に負担がかからないので、力の弱い人や、手にけがをしている人も使うことができる（）

5 ア ウ

6 センサー式（の）じゃぐち（の写真）

7 ①負う・追う
②機械・器械・機会

3 風が吹いて「涼しく」感じられるのは、夏が終わりに近づいているころです。

4 「どの子にも」とあるので、子どもは一人ではなく、何人かいることが分かります。

子どもたちが涼しい風に吹かれて、気持ちよさうにしている様子を表しています。

5 「西日」は、西の空にかたむいた太陽やその光のこと、特に真夏の夕日を指します。

てびき

1 4 引用部分は、「」でかこんで他と区別して書いています。

5 お年よりの話（=指に力が入りにくくても使える）は、関連する内容になっています。

7 話題の中心となっているものの写真を入れるのが適切です。

2 ①自分で引き受けることは「負う」、後をついていくことは「追う」と書きます。

②工場で使うような複雑な道具は「機械」、人が手で動かすような簡単な道具は「器械」、あることをする、ちょうどよい時は「機会」と使い分けます。

内容をつかむ!

（右から順に）イ・ウ・ア

10

46・47 ページ

練習のワーク

1 カメ・モモ
2 橋・トンネル・地下室
3 ウ

4 3 2 1 カメ・モモ
5 橋・トンネル・地下室
6 ウ

4 3 2 1 カメ・モモ
5 橋・トンネル・地下室
6 ウ

7 6 5 例モモが、ややこしい道を、カメの後について、一歩一歩、しんぼう強く歩いていったこと。
その文字をやつと読み取る

例すぐ後ろに現れる、三人の灰色の男たちに見つかってしまうから。

8 イ

てびき

3

モモは、「自分を元気づけるため」に「心配なんかしないわ。」と言いました。「本当

は少し心配になっていたから」このように言つたのです。では、モモは何が心配だったのでしょうか。モモは「いつたい、どこにあたしを連れてゆくの。」とたずねますが、カメラ内する道は、「ますますきみように、ますますややこしく」なるばかりです。モモは、どんな所に連れて行かれるのか心配になつて

いるのです。アは、モモは灰色の男の大軍に追われているとは「夢にも思いませんでした」とあるので、まちがいです。

4 5 カメは、「いつ、どこに追っ手が現れるかを、前もって正確に知つていい」ので、

タイミングをはかり、道を選んでモモを案内しました。

モモは、そんなカメの後をしんぼう強く歩いていたので、灰色の男たちに見つからずすんだのです。

「シンパイムヨウ」という文字を、モモはやっと読み取っています。

「シズカニ」という文字が光った後、「すぐ

後ろの方を、三人の黒いかげが通りすぎ」でいます。この「黒いかげ」は、灰色の男たちだと考えられます。カメは、灰色の男たちがすぐ近くに現れることを知っていたので、話し声で見つかってしまわないよう、モモに注意したのです。答えは「灰色の男たちが近くにいるから」「灰色の男たちに見つからないようにするため」などでも正答です。

48・49ページ

まとめのテスト

2 1
(順序なし)
ウ

- 例 (水の中の) はげしい流れ。
- 例 強くおし返す風。

4 3
苦もなく・頭で考える・息をする・何かを感じる

6 5
道のおくに、ななめに立っていた建物

例 金属のとびらが、ものすごく大きく見えたから。

7
例 とびらの上の表札に記された文字を読んでいた。

てびき

1 ほんの二、三秒で路地の行き止まりの建物

に着きそなになっていたのはモモではなく、カメなので、アは合いません。また、イのようないことは書かれていません。「きみようなことに、自分の声が聞こえません。」があるので、ウが適切です。

2 直前の「まるで……ような感じがします」の部分でたどえられているものをとらえましょう。「水の中をはげしい流れに逆らって進む感じ」「強くおし返す風に立ち向かっているかのような感じ。」という書き方でも正答です。

3 モモが一生けんめい進もうとしている様子をとらえましょう。「何とかして」「必死になつて」などの表現を使つてまとめます。

4 「さかさま小路」は、その名前とおり、何もかも逆向きで、「後ろ向き」つまり逆向きで歩くと前に進めるのです。

6 直前に「彫像の付いた緑の金属のとびらが

……ものすごく大きく見えたのに、ちょっとびっくりしました。」とあります。モモは、こんなに大きくて重そなとびらを自分の力で開けられるだろうかと、心配になつたのです。

7 初めの場面で、モモは「さかさま小路」という標識の文字を読んでいました。「とびらの上に、また表札を見つけた」モモは、今度は「へどこにもない家」と記された文字を、「ちょっと立ち止まって」読んでいます。

かぼちゃのつるが／われは草なり

どちらを選びますか

50・51ページ

基本のワーク

①せつとくりょく ②くら
①説得力 ②比

①願 ②結・付 ③選 ④司会
①イ ②ア ③イ

⑤④③②①
①イ ②ア ③イ
(順序なし) はい上がり・葉をひろげ
かぼちゃのつる

4 3 2 1
開いて
ウ

⑤②
14行目の「小さなその先端」も、同様にかぼちゃのつるの先を指しています。

3 つるの先が竹にしつかりまき付く様子を、「しつかりにぎつて」と表現しています。

この「にぎつて」は、かぼちゃのつるの先を手にたどえた表現です。竹にまき付いたつるは、にぎつた手に力をこめるようにはい上がり、屋根や竹の上にまでたどり着くと、今度は「手を開いて」空をつかもうとしています。

4 「はい上がり」「葉をひろげ」という表現が、何度もくり返されています。これにより、かぼちゃのつるがはい上がり葉を広げ、休まずまたはい上がる様子が伝わります。そして、ついには「いつせいに／赤子のよ

うな手を開いて」空にまでのびようとしています。

が (who)、何を (what)、なぜ (why)、
どのように (how)、を 5 W - H といい、
ニュース記事には欠かせない要素です。

③ コラムはニュース記事とはちがい、書き

手の意見なども記されることあります。

④ 新聞記事は、いちばん重要な事が先に示し（見出し）、次に出来事のあらまし（リード文）、それからくわしい内容の説明（本文）へとじだいに細かく書かれています。新聞を読むときには、まず見出しやリード文から何について書かれているのかをとらえ、それから本文へと読み進め、よりくわしい情報を読み取るようにします。

⑤ ①のリード文には、柔道の阿部兄妹と同じ日に金メダルを獲得した選手として、競泳の大橋悠依や、スケートボードの堀米雄斗の名前も挙げられています。②のリード文にも阿部兄妹以外の選手名が挙げられていますが、これは過去の大会における「兵庫県出身」の金メダリストです。また、「神港学園高出身」「夙川高出身」「神戸市兵庫区出身」と阿部兄妹の出身について書かれているのは、②のリード文です。

⑥ ①は、全国に向けて発行されている全国紙です。全国の読者に向けて書かれているため、阿部兄妹だけでなく、他の金メダリストについてもば広く取り上げています。一方、②は神戸で発行されている新聞で、その記事は神戸の読者に向けて書かれています。そのため、神戸の読者が身近に感じ

られる内容が取り上げられています。このように、新聞の記事は、対象とする読者に合わせて書かれています。

文章に説得力をもたせるには 漢字の広場② 四年生で習った漢字

56・57ページ 基本のワーク

- ① しゅちょう ② こじん ③ ささ
④ しゅうじゅう ⑤ じゅうじゅう ⑥ ひじき
⑦ けつじく ⑧ ふあん ⑨ くろう ⑩ ひき
⑪ ゆうき ⑫ こうせい

4 1 (順序なし) ①・⑤

④ 例 犯罪から身を守るために、防犯ブザーを持ち歩くことが必要だ (と いうこと)。

④ 3 ウ

④ 1 例 こわい思いをすると、体が固まつて声が出ないことが多い。

② 例 ランドセルやバッグに付けておけば、持ち運びもめんどうではない。

④ 1 田中さんは、文章の最初の段落で主張をのべ、最後の段落でもまとめとして同じ主張をくり返しています。このような構成にすることできで主張が強調され、読む人に自分の思いを明確に伝えることができます。

2 「わたしは、犯罪から身を守るために、防犯ブザーを持ち歩くことが必要だと考えます。」(①段落)、「いざというとき自分の身

を守るために、防犯ブザーを常に身に着けておくことが必要だ。」(⑤段落)とあります。答えは、「身を守るために」「防犯ブザーを持ち歩く(身に着ける)ことが必要だ」という内容をおさえてまとめましょう。

③ 段落には、田中さん自身が防犯ブザーに助けられた体験が書かれています。自分自身の体験を根拠として示すことで、「防犯ブ

ザーは必要だ」という主張を支え、説得力をもたせています。意見文を書くときには、主張だけでなく、根拠を示すことが必要です。この根拠が主張を支えるものになっているかどうかが、説得力のある意見文になるかどうかの決め手となります。

④ ③段落では、田中さんは自分の主張となる立場で考え、二つの反論を予想して挙げています。これらの反論に対する田中さんの考えを示しているのが、④段落です。

① 「大声を出せばいい」→「こわくて声が出せない」、②「持ち歩きがめんどうだ」→「ランドセルやバッグに付けておけばめんどうではない」とのべ、「防犯ブザーは必要だ」という主張へとつなげています。このように、「予想される反論(③段落)」と「反論に対する考え方(④段落)」を加えることで、文章に、より説得力をもたせることができます。

たずねびと

漢字の広場③ 四年生で習った漢字

58・59ページ 基本のワーク

1 ①まよ ②しょざいち ③ひと
④べんとうばこ ⑤けん ⑥まじめ
⑦てい ⑧よ ⑨あま ⑩ほどけ
⑪迷 ⑫所在地 ⑬独 ⑭検 ⑮寄 ⑯余
⑭結果 ⑮種 ⑯単位 ⑰例題 ⑱給食
⑲覚 ⑳イ ㉑ア ㉒ア ㉓ア ㉔ウ ㉕ア ㉖イ
㉗イ ㉘ア ㉙ウ

★ 内容をつだもー!

「楠木アヤ」…原爆・遺族が見つからない
「楠木綾」…お兄ちゃん・広島

60・61ページ

練習のワーク1

- 5 4
例 たつた一発の爆弾（または原爆）で、ここでたくさん的人が死んでしまったこと。
- 3 2 1
（順序なし）
明るくて晴れ晴れとした
ウ
（順序なし）
・ご飯が炭化した弁当箱
・くにやりとどこけてしまつたガラスびん
・八時十五分で止まつたうで時計
・焼けたれた三輪車
・石段に残る人の形のかげ

6

- (1) 例 被爆によつて、原爆が落とされた年の終わりまでになくなつた人たち（の数）。
(2) 朝礼のときの校庭・七百・二百

62・63ページ 練習のワーク2

身元・名前 例 遺族（または家族）

- 6 5 4
（1）例 （とても）少ない
（2）例 おばあさんの顔がぱつとかがやいた。
（1）例 おばあさんをがっかりさせてしまつたと思い、こまる気持ち。
（2）例 綾がアヤに会いに来てくれたことを、うれしく思う気持ち。

- 6 5 4
（1）例 （とても）少ない
（2）例 おばあさんをがっかりさせてしまつたと思い、こまる気持ち。

てびき

てびき

2 「せめて名前の分かつたる人らは、いつかだれかがむかえに来てくれはせんかと、市もわたしらもずっとさがしとります。」とあり、遺族をさがしていることが分かります。

3 (1) あとかたもなく焼けてしまつた人に流されていつてしまつた人などはお骨もなく、供養塔に入れられることもありません。その人の存在がすっかり消えてしまい、

身元不明者の数としてすら残らないのです。このような人は、「数でさえない人々」（教科書126ページ13行）と表現されています。

(2) 「おばあさんは切なそうになげいた」から、おばあさんがつらい気持ちでいること

が読み取れます。

- 4
（1）「おらんことはないが」は、「いるにはいるが、とても少ない」ということを表します。

——おばあさんをがっかりさせてしまった
にちがいないと思ったのだ。」の部分をま
とめましょう。

(2) (あや)
(1)は綾の思いがいでした。この後おば
あさんは「よかつたねえ」とアヤに語りか
けています。たとえ遺族ではなくても、ア
ヤのことを気にかけ、会いに来てくれた人
がいたことに感動して、おばあさんは言葉
をつまらせたのです。

広島で出会った物や人によって、もっと深い
意味をもつものへと変わりました。お兄ちゃん
は、綾が今日の出来事について静かに思
をはせていました。綾をせかさなかつたのです。
3 (2)で見たように、綾は広島の町を流れる川
を見て、かつてこの町で起きたおそろしい出
来事や住んでいた人々に思いをめぐらすよう
になつたのです。

4 (1) 「アヤちゃんのことを、ずっとわすれ
んでおってね」とアヤのためになみだぐむ
おばあさんとの出会いによつて、綾は「楠
木アヤちゃんが確かにこの世にいて、あの

日までここで泣いたり笑つたりしていた」

と感じられるようになりました。「楠木ア
ヤ」の文字を指でなぞると「その名前には、
祈念館でめぐり合つた子どもたちの顔が、
次から次へと重なつた」のは、顔をもつ実
在した人物として「アヤ」を受け止められ
るようになつたからです。

(2) 「夢で見失つた名前」とは、広島に来る

前に夢で見た、ポスターをはなれてたちま
ち消えてしまつた名前のことです(教科書
116ページ7行目)。ポスターに書かれたた
くさんの名前は、綾にとってただの文字、
ただの名前でしかありませんでした。しか
し今は、この世に生きていた人物の名前と
して、そのおもかげを感じています。八百
個の名前を、八百人の人としてとらえられ
るようになつたのです。

6 5

(2) (1) イ ウ
(順序なし)

4 3 2

(2) (1) イ ウ
(順序なし)

1

例 アヤ (ちゃん) ·

例 夢や希望 (まとは夢やら希望やら)

64・
65
ページ

まとめてテスト

2

綾は川や夕日の美しさに見とれていたわけ
ではありません。「(ただの)きれいな川」は、

てびき

8 7 6 5 4 3 2 1

2 1 2 1

ア ウ
空・例高さと大きさ
戸を叩く

④ウ ⑤イ ⑥ア

④ウ

⑤イ

⑥ア

6 5 4 3 2 1

①イ ②ウ ③ア

①イ

②ウ

③ア

66・
67
ページ

方言と共通語
季節の言葉3 秋の夕

基本のワーク

6 「だけど、あのおばあさんが……」が始ま
る段落に書かれています。「アヤ」のように
原爆でなくなつた人のことや、原爆がどれほ
どおそろしいものであるかを知つた綾は、そ
れを「ずっとわすれないでいたら、世界中の
だれも、二度と同じようなめにあわないです
むのかもしれない」と考えています。

5 原爆でなくなつた人々の記録を残そうとし
ても、名前すら分からない人々や、遺体すら
なくて死者数にさえ数えられない人々がたく
さんいるのです。

てひき

4 秋は月が最もきれいに見える季節で、俳句などでは「月」といえば、ふつう秋の月を指します。

①～③はどれも秋の季語です。「弓月」は弓のよう半円の形をした月、「十五月」は十五夜の満月を指します。

6 1 「夕暮れ」の時間を、さらに二つの時間帯に分けて、それぞれの時間帯でよいものを探しています。

2 ②は「音」と「音」のちがいに注意します。①～③は広く物音を表しますが、「音」は鳥や虫の鳴き声を表します。

7 1 「星月夜」は、月が出ていない秋の夜の星空を表します。月明かりがない分、より多くの星がかがやいて見えます。ア「満月の次の日」の夜は「十六夜」です。

2 「高さと大きさ」は、「広大さ」「果てしない広がり」などでも正答とします。

8 1 猿が戸を叩く音がよまれていますが、一方で、秋の風が戸を鳴らす音のたとえとどちらることもできます。そうするとまたちがった情景がうかんできます。

2 「秋を惜しむ」という気持ちは、秋がすぎ去ってしまうことが残念でさびしいという思いです。

意見が対立したときには

68・69ページ

基本のワーク

- | | | | |
|---|--------|-----|-------|
| 1 | ①じょうけん | ②たも | ③ひょうか |
| 2 | ④さんせい | ①条件 | ②保 |
| 3 | ③評価 | ④賛成 | |
| 4 | ①イ | ②ウ | ③ア |
| 5 | ④イ | ①エ | ②ア |
| 6 | ③ウ | ⑤イ | ⑥ア |
| 7 | ④ウ | ⑦エ | ⑧イ |

てひき

4 ① Aさんは「自分はよくグラウンドでけがをする」という事実、Cさんは「けがをする場所は、グラウンド以外にもある」という事実をもとに、それぞれの意見を言っています。

2 Bさんは、Aさんの意見に賛成の考え方を示したうえで、そのやり方について質問しています。

3 Dさんは、「取り組みやすいこと」かどうかをもとに考える、という条件を提案しています。Aさん・Bさん・Cさんの発言は「考えを広げる」ためのものです。Dさんは「考えをまとめる」ための発言をしています。

2 話し合いをするときには、「人」と「意見」を区別することが大切です。

浦島太郎「御伽草子」より

70・71ページ

基本のワーク

- | | | | |
|---|-----------------|------------------------------|----|
| 1 | ①つま | ②妻 | ③ウ |
| 2 | (1) 開けて見よう | (2) 亀が与へしかたみの箱 | |
| 3 | 亀・開けなさるな・見てしまった | 例 亀が浦島の年の数を箱の中にたたんで入れてあつたもの。 | |
| 4 | おじいさん | 鶴 | |

てひき

3 1 現代語訳に、「(ふるさとで長い時間がすぎてしまった)今となつてはどうしようもない」とあります。ふるさとが変わり果て、知る人もなくなつたことにショックを受け、もう今さらどうしようもないと思われます。

2 (1) 「見ばや」は、「見てみたい。見てみよう」という意味です。

(2) 古典の仮名づかいに注意して書きぬきましょう。

4 「もともと、この浦島の年の数を……箱の中にたたんで入れてあつた」とあるので、「浦島の年の数」だったと分かります。

6 言い伝えられてきた「浦島太郎」の話には、いくつかの展開があります。この「浦島太郎」では、箱を開けた後、浦島太郎が鶴になってしまいます。また、竜宮城で浦島太郎と結婚し、浦島太郎に箱をわたした女性が、実は浦島太郎が助けた亀となっています。

和語・漢語・外来語

72・73ページ 基本のワーク

- 1 ①こ ②こんざつ ③なまもの ④きんし
5 ⑤しようじょ ⑥かのうせい
1 ①混雜 ②省略 ③採集 ④可能性
3 ①日本 ②「訓」 ③中国 ④漢字
5 ①ア ②ウ ③イ ④イ ⑤ア ⑥ウ
1 ①和語:速さ 漢語:速度
2 和語:明かり 漢語:照明
3 和語:昼飯
漢語:昼食
1 ①読み:いろがみ 意味:イ
2 ①読み:シキシ 意味:エ
3 ①読み:セイブツ 意味:ア
4 ①読み:なまもの 意味:ウ

てびき

④「宿屋」は漢字で書き表されていますが、

内容をつなぐ! てびき

多い・減つてきてる・絶滅させない

「訓」で読むので和語です。

5 似たような意味を表す言葉であっても、外
来語、和語、漢語で読んだときの印象がち
がつたり少し意味がちがつたりする場合もあ
るので、場面によって使い分けることが大切
です。

7

漢語は、小さな子どもには意味が分かりにく
い場合があります。また、漢語は同音の言
葉が多いので、耳で聞き取るときは分かりにく
いことがあります。一方、改まつた場面
では漢語のほうがふさわしい場合があります。
場面によって使い分けが必要です。

74・75ページ 基本のワーク

- 1 ①かてい ②ゆた ③ぶんぶ ④しんりん
5 ⑤げんしよう ⑥ほご ⑦ふたた
8 ⑧ぞうか ⑨しょうにん ⑩せきにん
11 ⑪どうけいしりょう ⑫にさんかたんそ
13 ⑬せつてい
1 ①豊 ②減少 ③保護 ④増加 ⑤証人
6 ①イ ②ウ ③イ ④イ ⑤ア ⑥ウ
ア

てびき

2 第二段落をていねいに読みましょう。「ア
マミノクロウサギは、そのずっと以前に大陸
からわたってきた」は、「アマミノクロウサ
ギは、南西諸島が大陸から切りはなされて島
になるずっと以前に大陸からわたってきた」
という意味です。また、「大陸では、その後
もっと進化したウサギが栄えた」は、「大陸
では、南西諸島が大陸から切りはなされて島
になつた後もっと進化したウサギが栄えた」
という意味です。

6

5 4 1 3 2 1
例 アマミノクロウサギより、もつと進化し
たウサギが栄えたから。
他の地域と分断される
気候的・地形的

76・77ページ 練習のワーク1

1 南西諸島・本土・北海道
(右から順に) 2 → 3 → 1 → (4)

例 アマミノクロウサギより、もつと進化し
たウサギが栄えたから。

4 文章の最後に、「固有種が生き続けていく
ためには、この豊かな環境が保全される必要
があるのです」とあります。「この豊かな環
境」とは、すぐ前に書かれていた、気候的に

も地形的にも変化に富んだ、日本の「豊かで多様な環境」を指します。「豊かな環境が保全されること。」でも正答としますが、「多様な」という説明も加えたほうが、よりよい答えとなります。

78・79ページ

練習のワーク2

- 3 2 1
(1) ウ
(2) (日本の)産業部門の二酸化炭素排出量。
(3) イ
A 例三千万トン増えています
B 六十六

- 5
4
B 六十六
C エアコンの設定温度を変えたり、こまめに電気を消したりするなど、家庭での節電をすること。

6 イ

てびき

2 資料①のグラフから、「家庭部門」の「二酸化炭素排出量」は減つていませんことが分かります。また、資料②から、家庭から排出される二酸化炭素量のエネルギーでいちばん多いのは、「電気」であることが分かります。

- 3 (1) グラフを用いて説明するときは、まず何を表すグラフなのかを示します。
(3) 「一九九〇年と二〇一九年を比べると……」と、具体的にどの数値に注目して読

み取ればよいのかを示し、読み手が理解しやすくしています。

- 4 Aは、前に「産業部門が一億トン以上減つているのに対し」とあるので、これと比べて、家庭部門は何トン増えているのか、減っているのかをまとめます。

- 5 「……が重要だと考えます。」「……始めましょう。」という文末で、自分の考えをのべています。これらの文をまとめます。

80・81ページ

まとめのテスト

- 1 1 森林のばっさい・外来種の侵入(「森林のばっさい」「外来種の侵入」は順序なし)・消失

- 2 例(自然の作用ではなく)人間の活動によって、固有種が減つてきているという問題。

- 3 ・(固有種などを)例天然記念物に指定した

・(絶滅のおそれのある動植物を)

例「絶滅危惧種」などとランク分けした

2 資料①のグラフから、「家庭部門」の「二酸化炭素排出量」は減つていませんことが分かります。また、資料②から、家庭から排出さ

- れる二酸化炭素量のエネルギーでいちばん多いのは、「電気」であることが分かります。

3 (1) グラフを用いて説明するときは、まず何を表すグラフなのかを示します。

- (3) 「一九九〇年と二〇一九年を比べると……」と、具体的にどの数値に注目して読

3 資料A
4 1 2 「この」が指示する内容を前の部分からさがします。第一段落でどんな「問題」が取り上げられていたかを確認しましょう。

「人間の活動が活発になり、……動物たちのすむ場所が消失するという問題が起り、すでに絶滅したほ乳類もあります」とあり、最後に「人間の活動によって、固有種が減つてきているのです」とまとめられています。このまとめの部分を用いて答えましょう。

4 アは、第二段落の「一九八〇年ごろには、全国におよそ十万頭にまで増えました」に合っています。また、第三段落に「特別天然記念物にもかかわらず、地域によっては害獣としてほかくされるようになつた」とあり、その数は、資料7から、年数百頭、千数百頭と分かれます。イは、特別天然記念物の指定は取り消されていないので×。ウは絶滅しかけた原因がちがいます。原因是、人間による「らんかく」です。さらに、保護の内容も「えさをあたえること」とは書かれていません。

5 資料6で「天然林が一五〇〇万ヘクタールにまで減少」した年、資料7で「ほかくされたニホンカモシカの数が増えている」年を読み取ります。どちらも一九八〇年代であることが分かります。

- 6 ニホンカモシカがほかくされるよう

2 1 6 5 4 イ ア
天然林

資料A:○○県の小学生(千二百人)

資料B:○○市立図書館に来た小学生(百人)

資料A:アニメ雑誌
資料B:ファンタジー

1 はかせ
2 きこうぶん
3 ぶんかど
4 そしき
5 けんちく
6 きゅうど
7 きそく
8 ちよきん
9 しんがた
10 けつえき
11 きほん
12 じこ
1 教授
2 山脈
3 規則
4 額
1 病
2 秒
3 院
1 2
2 3
3 1
4 2

カンジー博士の暗号解読

82
83
ページ

基本のワーク

なったのは、「生息場所である天然林が減少」したために、えさを求めて植林地に現れる「幼木の芽を食べたからです。」「天然林」を保護すれば、ニホンカモシカは安心してそこにすみ、人間にきらわれるることもありません。この事例から分かるように、固有種を保護するときには、その固有種の生息環境もあわせて保護することが重要なのです。

3 資料Aの調査対象が○○県の小学生千二百人と多く、地域も広くて学年や男女にかたよりがないのに対し、資料Bの調査対象は百人と少なく、しかも○○市立図書館に来た人に限られます。そのため、資料Bは、「ある特定の地域に住む、限られた人數の図書館に来た小学生」が好きな本となります。「一般的な小学生」の好みに近いと考えられるのは、資料Aです。

他人に文としてはならない
過ちをおかしてそれを改めない
朝になつたのも気づかなかつた

⑨ 福井
① 富山
⑥ 神奈川
④ 群馬
② 茨城
① 宮城
③ 桜木
⑤ 埼玉
⑦ 新潟

古典の世界（二） 漢字の広場④ 四年生で習った漢字

基本のワーク

やなせたかし——アンパンマンの勇気

1 ほんみょう 2 ふうふ
3 すく 4 ほんかくてき
5 しょく 6 いどう
7 はか 8 せいぎ
9 ころ 10 ます
11 しゅつぱんしゃ
12 のち

86・87 ページ

基本のワーク

やなせたかし——アンパンマンの勇気

188

「自分にさせたくないことを、人にしてはいけない。」「過ちをおかしたら、それを改めることが大事だ。」という意味のことを、孔子は説いているのです。

「春暁」^{（しゅんき）}は、「春の夜明け」という意味です。あたたかくて気持ちのよい、春の朝の様子を歌っています。「雨や風の音がしていた」昨夜の悪天候とはうつて変わって、「あちこちで鳥の鳴く声が聞こえてくる」おだやかな朝です。

28	鹿児島	25	長崎	22	愛媛	19	岡山	16	大阪府	13	愛知	10	山梨
29	沖縄	26	熊本	23	福岡	20	徳島	17	兵庫	14	滋賀	11	岐阜
27	宮崎	24	佐賀	21	香川	18	奈良	15	京都府	12	静岡		

③ 1 ア ② イ ③ ア ④ イ ⑤ ウ ⑥ ウ

内容をつかむ!

88・89 ページ

1 (1) 戰死

(2) ア 戰死

3 2 (1) 戰死

(1) (2) 本当の正義とは、おながすいて
いる人に、食べ物を分けてあげること
だ。(2)

4 (2) 分け合つて・えがお

(3) ① 殺す ② 生かす

例1 戰争で苦しい思いをしている人たちや、
うえて死んでしまう子どもたちを助けること。
例2 人を生かし、命をおうえんすること。

1 (1) 戰死

2 正しい・正しい・正義

3 (1) (2) 本当の正義とは、おながすいて
いる人に、食べ物を分けてあげること
だ。(2)

てびき

1 (2) 後にある「いつたい君は……ぼくは何
をすればいいのだろう。」という言葉から
「たかし」の考え方読み取ります。

2 (1) (2) おさない兄弟がおにぎりを分け合
う様子を見て、「たかし」は「はつと」し
て、「本当の正義とは……ことだ。」と言つ
ています。この兄弟の様子を見たことが
きつかけで、正義とは何かという問いに答
えを見つけたのです。

3 (3) 「戦争は……気がついたのだ。」(31行
33行)の一文で、「たかし」が気づいた

ことがまとめられています。

4 最後の「たかし」の言葉をまとめます。

「その人たちを助けるのは、どんなときも正
しいこと」と言っており、「その人たち」が
どんな人たちかはその前で説明されています。

また、「たかし」の言葉の前の一文「戦争は、
人を……気がついたのだ。」を使って表すこ
ともできます。

て人を助けるものが多いですが、アンパン
マンは食べ物を分けて人を助けるヒーロー
でした。

2 すぐ後の部分から、「たかし」が、人を助
けようとしたら自分も傷つくが、それでもだ
れかを助けたいと思うのが本当の勇気だと考
えていることが分かります。顔を食べさせて
人を助けるアンパンマンは、自分も傷つくか
くごで人を助けるヒーローを表現したもの
です。

3 被災した人たちは、傷つき苦しみながらも
だれかを助けようとしていました。そのすが
たが「たかし」にはヒーローのように見えた
のです。

4 「たかし」は、手術をくり返していて、無
理をすればさらに体が弱ってしまう状態だっ
たのに、震災で苦しむ人たちを助けようとし
ました。自分が傷つくかくごで、だれかを助
けようとしていたのです。

5 (1) 「手術」を何度もしたことが書けてい
れば正答です。

6 「たかし」は、手術をくり返していて、無
理をすればさらに体が弱ってしまう状態だっ
たのに、震災で苦しむ人たちを助けようとし
ました。自分が傷つくかくごで、だれかを助
けようとしていたのです。

9999
90・91 ページ

1 (1) ウ

2 (2) 正義・命

3 2 (1) ウ

4 3 2 (1) ウ

5 (1) イ

6 (1) イ

7 (1) ウ

8 (1) ウ

9 (1) ウ

10 (1) ウ

11 (1) ウ

12 (1) ウ

13 (1) ウ

14 (1) ウ

15 (1) ウ

16 (1) ウ

17 (1) ウ

18 (1) ウ

19 (1) ウ

20 (1) ウ

21 (1) ウ

22 (1) ウ

23 (1) ウ

24 (1) ウ

25 (1) ウ

26 (1) ウ

27 (1) ウ

28 (1) ウ

29 (1) ウ

30 (1) ウ

31 (1) ウ

32 (1) ウ

33 (1) ウ

34 (1) ウ

92・93 ページ

基本のワーク

あなたは、どう考える
季節の言葉4 冬の朝

1 (1) アは「顔がぬれただけで力をなくす、
イは「かっこいい武器も持っていない」とい
う内容に合わないので不適切。ヒーローに
は、強い力をもち、その力でできをたおし

ます。

2 (2) かり

3 (1) 述

4 (2) 仮

5 (1) 題材

6 (2) 必要

7 (3) 参考

8 (4) 交通省

① 主張 ② 根拠

③ 反論に対する考え方 ④ 主張

⑤ 1 早朝

寒さがやわらいでくると
ア〇 イ〇 ウ〇 エ×

夕日・海・風 〔または〕 〔こがらし〕
イ

3 2 1 ウ

てびき

④ 意見文では、「初め」と「終わり」に自分の主張を述べる構成がよく使われます。「中」には、その意見に説得力をもたらせるための内容を書きましょう。

⑤ 工は「火桶の火も白き灰がちになりてわろし」に着目。「わろし」は「よくない」という意味です。

⑥ 2・3 「風花」は、風に乗ってまい散る雪を、花に見立てた言葉です。作者は、「華やかに」風花を散らしているのはどの雲だろうかと、空を見上げているのです。

好きな詩のよさを伝えよう 言葉でスケッチ

94・95 ページ

基本のワーク

- 2 1 1 するめ
2 1 2 うみ 〔または〕 海
1 1 ヨット
2 見た・思つた

ゆう陽 〔または〕 夕日・ゆうぐれ
なみだ・海

6 5 4 3 1 1 むくむく (ど)

てびき
2 ア

じかく 熟語の読み方
漢字の広場⑤ 四年生で習った漢字

96・97 ページ

基本のワーク

1 1 ししく 2 わたげ 3 いま

4 えいきゅう 5 しみず 6 かわら

7 しょうどく 8 やおや 9 えいぎょう

10 くだもの 11 まいご 12 めがね

13 ぼうはん 14 こうし 15 せいりょくでき

16 へた

1 飼育 2 綿毛 3 消毒 4 営業 5 防犯

6 講師

1 目的地

2 牧場

3 兩側

4 松

5 博物館

6 徒歩

1 トクベツ

2 オウさま

3 やね

4 あいづ

5 ウ

6 ア

1 てつだ

2 まじめ

3 たなばた

4 かわら

5 しみず

6 はかせ

1 イ

2 ア

3 イ

4 ア

5 ア

てびき

④ ③の「屋」の音読みは「オク」。「や」は訓読みです。④の「合」の音読みは「ゴウ・ガツ」。「あい」は訓読みです。

6 情景をえがくときは、たとえや、音のひびきで様子を表す言葉を使ったり、色や音、においなどを想像して言葉を考えたりして、表現を工夫しましょう。

- 2 1 1 するめ
2 1 2 うみ 〔または〕 海
1 1 ヨット
2 見た・思つた

想像力のスイッチを入れよう

98・99
ページ

基本のワーク

- 1 しゅうかん
- 2 しゅうい
- 3 ふりえき
- 4 さいがい

- 1 習慣
- 2 周囲
- 3 不利益
- 4 災害

- 1 工
- 2 ア
- 3 ウ
- 4 イ
- 5 オ
- 6 ア
- 7 ウ
- 8 ウ
- 9 イ

内容をつなごう!

(右から順に) イ・ア・ウ

100
101
ページ

練習のワーク

結論・まだ分からぬよね(。)

かくしている

ア・ウ

(順序なし)

・報道陣をさけるためか

・にげるよう

印象

例 その仕事は、相手側の都合で、急にキャンセルせざるをえなかつたのかも知れない、

といった、他の見方もありつるから。

想像(力)・他の見方

- てびき**
- 1 「まず大切なのは、結論を急がないことだ」とあり、「まずは一度落ち着いて、『まだ分からぬよね。』と考える習慣をつけよう。」と述べています。情報に接したら、まずは落ち着き、それから「メディアが伝えた情報について、冷静に見直す」という作業にかかります。その方法について、この後に具体的な説明が続いています。
- 3 イは、想像力を働かせずに、「報道陣をさけるためか」というレポーターが印象を述べた言葉を、そのまま受け取ってしまっています。
- 4 直後に「Aさんは／裏口から／出ていきました」という言葉だけが確かな事実だと述べられているので、それ以外は「印象が混じっている可能性のある表現」です。レポーターは、Aさんがかんとくになるのではないかとういう思いこみをもっているため、このような表現を付け加えてしまうのです。
- 6 Aさんは、かんとく就任が決まつたために外国での仕事をキャンセルしたのではなく、別の理由でキャンセルしたのかもしれません。たとえ事実であつても、それがAさんのかんとく就任と結び付くとは限らないのです。
- 7 ①のレポートの事例では、『事実かな、印象かな。』と考える大きさを述べています。④の新聞記事の事例では、『他の見方もないかな。』と考える大きさを述べています。このどちらにも欠かせないのは、「想像力」を働かせることが必要だと主張しているのです。「想

てびき

1 「まず大切なのは、結論を急がないことだ」とあり、「まずは一度落ち着いて、『まだ分からぬよね。』と考える習慣をつけよう。」と述べています。情報に接したら、まずは落ち

- 102
103
ページ**
- まとめのテスト**

てびき

1 (1) 暗がり・(2) 何がかくれているかな(。)

(2) (1) 他の人がかんとくになる可能性はないのか(。)

3 2

思いこみ・推測

例 1 「想像力のスイッチ」を入れる努力

例 2 想像力を働かせて、あやまつた思いこみをしないようにすること

5 4

イ

ウ

てびき

1 これより前の文章では、メディアがスポットライトを当てたものを、どう受け取ればよいのかについて説明していました。ここからは、スポットライトが当たっていない部分にも想像力を働かせることが必要だということが述べられています。

2 3 「Aさんの事例のように」思いこみや推測によって、だれかを苦しめたり、だれかが不利益を受けたりすることは、実際に起こりうるのだ」とあります。このようなことを防ぐために、情報を受け取る側にも努力が必要であり、「あなたの努力は、『想像力のスイッチ』を入れることだ。」と最後の段落で述べられています。「スイッチ」は、自分で意識して入れることができます。筆者は、情報を正しく受け取るには、意識的に想像力を働かせることが必要だと主張しているのです。「想

想像力のスイッチを入れる」というたとえを使わずに書いても、同じ内容であれば正答です。

4 ここでは、「あたえられた小さいまどから小さい景色をながめる」「想像力でかべを破る」「大きな景色をながめる」というたとえを用いて、それまでに述べてきた意見をまとめています。筆者の意見は、メディアが伝え特定の部分をそのまま受け取るのではなく、『何がかくれていてるかな』などと想像力を働かせて見るはんいを広げ、物事の全体像を正しくとらえることが大切だ、というものです。これに合うのはイです。

5 筆者は、メディアを批判しているわけではありません。

複合語

言葉を使い分けよう

104・
105 ページ

基本のワーク

- 1 枝分 2 人工衛星 3 農耕地帯 4 粉
5 輸入 6 少年団

1 うおいちば 2 まさゆめ 3 あゆ
4 しょうひぜい 5 ほうせいど
6 じんこうえいせい 7 のうこうちたい
8 そんがいほけん 9 ゆきがつせん
10 こな 11 へいきん 12 ゆにゅう
13 しょうねんだん 14 じむ 15 ふなたび
16 つのぶえ

- 1 おじいさん 2 ウ
3 アメ 4 イ〇 5 ウ
6 あおじろい 7 オ
8 イ
9 ほんばこ 10 ほなたび
11 はなばたけ 12 しらなみ
13 まつは竹取の翁・さぬきのみやつこ
14 月
15 持参して↓例持つて
16 工

3 それぞれ、次のような組み合わせでてきて

います。

- 1 「足(和語)」+「ふむ(和語)」
2 「ピアノ(外来語)」+「教室(漢語)」
3 「火山(漢語)」+「岩(漢語)」
4 「暑い(和語)」+「苦しい(和語)」
5 「キー(外来語)」+「ホルダー(外来語)」
6 「休む(和語)」+「時間(漢語)」
7 「紙(和語)」+「コップ(外来語)」
8 「新(漢語)」+「製品(漢語)」

4 複合語になるときに、元の言葉と発音が変わることがあります。

- 1 「ほん・ぱこ」、2 「ふな・たび」、3 「しら・なみ」、4 「あま・ぐも」、5 「はな・ばたけ」、6 「あお(い)・じろい」のように、二つの言葉のつなぎ目の音が変化します。

- 5 1・2 「初め」と「終わり」の部分で、「わたしは、……学びたいです。」「ですかね」などとなります。ア「外来語」「漢語」などは適切に使いますが、無理に取り入れる必要はありません。

複合語

2 物語のどの部分を変えるかによって、物語全体がどのように変わるかもことなります。

- 3 一般的な事実を知りたいときには、本や新聞を読むほか、インターネットで検索することも役に立ちます。

4 3 「初め」で英会話を学ぶという提案。

- 1 ①ウ 2 ②イ 3 ③ウ 4 ④ア
5 ①エ 6 ②ア 7 ③イ 8 ④ア
9 ①ウ 10 ②ア 11 ③イ 12 ④ア
13 ①ウ 14 ②ア 15 ③イ 16 ④ア

106・
107 ページ

基本のワーク

もう一つの物語
「子ども未来科」で何をする

大造じいさんとガン

漢字の広場⑥ 四年生で習った漢字

108・109
ページ

基本のワーク

- | | | | |
|-------|---------|------|---------|
| 1 かい | 2 も | 3 ひき | 4 どうりょう |
| 5 しどう | 6 どうどう | | |
| 1 快 | 2 燃 | 3 率 | 4 頭領 |
| 5 指導 | | | |
| 6 堂々 | (または堂堂) | | |
| 1 大臣 | 2 関心 | 3 浴 | 4 投票 |
| 5 昨夜 | | | |
| 6 孫 | | | |
| 7 イ | 8 イ | 9 ア | |
| 1 ア | 2 イ | 3 ウ | 4 ウ |
| 1 ウ | 2 ア | 3 ア | 4 ア |
| 1 イ | 2 イ | 3 イ | 5 イ |
| 6 ウ | | | 6 ウ |

内容をつがも!

(右から順に) 3 → 2 → 4 → 1

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 タニシ・(さかんに) 食べた形跡 | 2 思わぬごちそう | 3 イ |
| 4 小屋の中でえさ場に来るガンの群れを待つて、じゅうでうつため。 | 5 残雪 | 6 ジュウ |
| 7 (小さな) 小屋・(ご)様子の変わった所には、近づかぬがよいぞ。 | 8 残雪は、「油断なく」やつて来て、大造じいさんは、ほおがびりびりするほど引きしまるのでした。 | 9 (小さな) 小屋・(ご)様子の変わった所には、近づかぬがよいぞ。・本能 |

110・111
ページ

練習のワーク1

- 3 「会心のえみ」とは、「自分の思いどおりになつたときに出る笑い顔」のことです。大造じいさんはガンをとらえるための作戦がうまくいくって、満足しているのです。
- 4 後のほうに「もう少しだまのとどくきよに入つてくる」とあるように、小屋からガンをじゅうでうと考えたのです。「小屋でガンを待つ」「小屋からガンをうつ」という二点をおさえていれば正答とします。
- 6 「りょうじゅうをぐとにぎりしめた」「ほおがびりびりするほど引きしまる」は、緊張したときの様子を表しています。「あかつきの光が、小屋の中にすがすがしく流れこんできました。」は、今回はうまくいきそうだという、大造じいさんの明るい気持ちを想像させる表現なので、当てはまりません。
- 8 「またしても、残雪のためにしてやられてしま」つたので、大造じいさんはくやしくてうなつてしまつたのです。
- 9 残雪は、「油断なく」やつて来て、大造じいさんの小屋を見つけると、「様子の変わつた所には、近づかぬがよいぞ。」と感じ、「広いぬま地のずっと西側のはしに着陸」するようになります。

9 イ

112・113
ページ

練習のワーク2

- 1 残雪の仲間(または残雪の一群)・おどりの後について飛ぶ(=とうこと)の後について飛ぶ(=とうこと)
- 3 残雪の仲間(または残雪の一群)・おどりの後について飛ぶ(=とこと)
- 4 残雪は、(または)いちばん最初に飛び立つたもの
- 5 たま・三倍・(ガンの)え(ヤ)
- 6 (順序なし)
- 例 飼いならしたガンを(例の)えさ場に放つた。
 - 例 小屋の中にもぐりこんで、ガンの群れを待つた。
- 7 うまくいく(または成功する)
- 8 ウ
- 1 少し後に、「ガンがどんぶりからえ(え)を食べている」とあるので、飼っているガンのえさであることが分かります。
- 3 少し後に、「ひとつ、これをおりに使って、残雪の仲間をとらえてやろうと考えていた」とあります。「これ」とは飼っているガンを指します。
- 4 ガンの習性を利用して、おとりのガンを口笛でよび寄せ、その後に群れがついてくるよう仕向けようと考えたのです。
- 6 直前の文に、準備の内容が二つ書かれています。

7 前の日の場面に、「『うまくいくぞ。』／大だ
造じいさんは、青くすんだ空を見上げながら、

8 残雪との勝負を目前にして、大造じいさんは、青くすんだ空を見上げながら、「こりとしました」とあります。「東の空が真っ赤に燃えて」「美しい朝の空」といった表現からも、この思いが続いていることが分かります。

114
115
ページ

- 第一のてき：ハヤブサ
第二のてき：大造じいさん 〔または人間〕
(順序なし)

・(残りの力をふりしぼって)ぐつと長い
首を持ち上げました(。)
・じいさんを正面からにらみつけました(。)

イ
てびき

大造じいさんは、うつのをやめてしまつたのです。

4 2 直前に「救わねばならぬ仲間のすがたがあるだけでした」とあります。頭領である残雪は、仲間を救うことだけを考え、全力でハヤブサと戦っているのです。

羽が何度も空に飛び散る様子から、二羽^わが空中ではげしくぶつかっていることが分かりります。

第一のときは仲間のガンをおそつてきたハヤブサで、第二のときは近づいてくる大造じいさんです。

4 3 2 1

ろして
(ぐつと) ジゅうをかたに当て・じゅうを下
(ぐつと) ジゅうをかたに当て・じゅうを下
る
(1) ウ
(2) 例 大きな羽で、力いっぱい相手をなぐ
りつけた。
さつと体勢を整えると、残雪のむな元に飛
びこみました。

116
117 ページ

- 3333
116
117 ページ

7 6 5 4
ア イ
えらぶつ 春・残雪
〔またはガン〕・大造じいさん

1 ハヤブサは「よろめき」、残雪はむねから血を流して「ぐつたりと」しています。この様子から、二羽の戦いのはげしさが分かります。

3
すぐ前の部分で、残雪が最期の時を感じて、
頭領らしくふるまう様子がえがかれています。
大造じいさんは、そんな残雪のすがたに「強

6 直後に「おれたちは、また堂々と戦おう

4 送り出す大造じいさんの晴れ晴れとした心情
どんなどころが「ただの鳥」とはちがうのか
が不明なので、不十分です。

6 直後に「おれたちは、また堂々と戦おうじゃないか」とあります。「おれたち」とは、大造じいさんと残雪を指します。

7 直前の「晴れ晴れとした顔つきで見守つていました」という表情から、大造じいさんは、ひきょうな方法で残雪をうつことを満足感を読み取ることができます。大造じいさんは、ひきょうな方法で残雪をうつことをしませんでした。頭領らしく堂々とした態度の残雪のように、自分もまた堂々と戦いをいどむのだと、むねを張つているのです。

どむのだと、むねを張つてゐるのです。

チエロの木

118・119
ページ

まとものテスト①

- 例 弾けば弾くほど音が深くなつてくるから。
 4 3 2 1 ウ
 わたしはまばたきをわすれ、父さんはじつと目をとじていた。

- 例 すばらしいチエロを作った父さんをほこらしく思う気持ち。

- 6 5 4 3 2 1 ウ
 ⑤ バッハ ⑥ パブロ (やん)
 ⑦ (お) 父さん
 7 演奏・時間・つなげて

的なようですが、どちらも演奏に心をうぱわれていることが分かります。
 5 パブロさんのかなでるチエロの音に感動した「わたし」は、このすばらしい音を出すチエロを作ったのは父さんなのだと感動し、ほこりに思っているのです。

7 最後の「星がめぐるように……みんなをつなげていた。」に着目します。はるか昔のバッハの曲を、父さんの作ったチエロでパブロさんが演奏する様子を見て、音楽には時をこえて人々をつなげる力があると感じています。

4 3 2 1 120
ページ
まとものテスト②

- 1 ① 1 音 (のーつぶーつぶ)・不思議さ
 例 子どもたちにチエロを教えている。
 (お) 父さん・音・生徒 (たち)
 〔まとは子どもたち〕

3 一直後に「わたしは、子どもたちにチエロを教える道を選んだ。」とあり、「わたし」が今何をしているかが分かれます。「職人」だった父さん、「演奏家」だったパブロさんと同じように、音楽にかかる道を選んだのです。
 4 音楽は、「わたし」にとって、時間をこえてみんなをつなげてくれるものでした。そして、チエロは、弾くたびに父さんとパブロさんを思い出させてくれるものであり、「わたし」を「子どもたちにチエロを教える道」に導いてくれたものです。また、最後の「父さんが作ってくれた……音を出している。」に着目すると、チエロは父さんや「わたし」と生徒たちをもつなげてくれているといえるでしょう。

- 2 直前の「お父さんのチエロは、弾けば弾くほど音が深くなつてくる。」に着目します。弾けば弾くほど音がよくなるので、「上達したようを感じる」とパブロさんは言つたのです。
 3 「~ような」というたとえの表現に着目します。
- 4 「わたし」は「まばたきをわすれ」、父さんは「目をとじて」演奏を聞いています。対照や「川のせせらぎ」や「雪の中の切りかぶ」

- 1 1 音 (のーつぶーつぶ)・不思議さ
 例 子どもたちにチエロを教えている。
 (お) 父さん・音・生徒 (たち)
 〔まとは子どもたち〕

夏休みのテスト①

実力判定テスト

答えとてびき



1 増加・(しだいに)へってきた

(1) クロマグロ (2) 非常に少ない・市場価格

6 5 4 3 2

工

九

完全養殖・成功

例卵から育てたクロマグロが卵を産んだこと。



1 後の文章に注目します。「マグロを漁獲する国が増加し、とりすぎたためにマグロがしだいにへってきました」とあります。

人間のせいで、マグロが少なくなっていることが問題なのです。
2 (1) 「積極的にマグロをふやす」とは、ここではマグロの養殖をするのことを意味しています。筆者たちは、八種あるマグロのうちのクロマグロをふやすことに決めました。

(2) 二段落目に「漁獲割合は約二%と非常に少ないのですが、もつとも大きく成長し市場価格ももつとも高いクロマグロ」と説明されています。
3 次の二文に「皮ふが弱く、光や音にもびんかんでストレスをおくこと」「酸素がたくさん必要で、つねに新鮮な海水を求めて泳ぎつけなければならない」とあります。どちらも飼うのがむずかしい性質であることを表しています。
4 「生けすに飼いつけるのに四年、産卵するまでにさらに五年」とあるので、合わせて九年になります。

5 「一巡」は、ひとまわりという意味です。「卵から育てたクロマグロ」が「卵を産むことで、ひとまわりしたと考えられます。
6 「積極的にマグロをふやす」と決めてから、「完全養殖」が成功するまでの研究の歩みが書かれている文章です。

夏休みのテスト②



1 いんしょう 2 やぶ 3 こころざし 4 しゃざい

5 ちょうさ・ほうこく 6 ふくすう・げんいん

7 りゆうがくせい・まね

1 準備 2 似 3 夢中 4 喜 5 祖父母 6 逆方向

7 新幹線・往復 8 理解・確

1 ウ 2 ア 3 イ 4 エ

1 おっしゃつた 2 いただいた 3 つかがおう

4 ア付 5 イ着 6 2 ア会 7 イ合

3 ア協議 4 イ競技 5 ア使命 6 イ指名



1 ③「志す」(こころざす)という読み方も覚えておきましょう。

6 「複数」は「二つ以上であること」の意味で、反対の意味の言葉は「単数」です。「原因」は「げいいん」と書かないように注意。

2 ⑦「往」「復」は、どちらも「イ(ぎょうにんべん)」です。「復」を「複」とまちがえないようにしましょう。「復」は「帰る・くり返す」などの意味で、「回復」「復習」などと使います。

3 ①「鳴」は、「口」と「鳥」を組み合わせて「鳥や虫が鳴くこと」を表します。②もえあがるほのの形からできた漢字です。④「サ(くさかんむり)」が「草などの植物」という意味を表し、「早」が「ソウ」という音を表します。

4 ①「言う」の尊敬語は「おっしゃる」、②「もらう」のけんじよう語は「いただく」、③「聞く」「きく(=たずねる)」のけんじよう語は「うかがう」です。元の文の形に合わせて書きましょう。

5 ①ア「あとがつく」ときは「付く」を、イ「場所につく」ときは「着く」を使います。②ア「人とあう」ときは「会う」を、イ「ぴったりあう」ときは「合う」を使います。③アは「協同して議論する」、イは「技を競う」という意味です。④アは「使者として受けた命令」、イは「名を挙げて人を指定する」という意味です。

実力判定テスト

答えとてびき

冬休みのテスト①



冬休みのテスト②



1 五年生

2 キャプテン

3 イ

4 例 吉野くんにチームのごたごたのめんどうをみてほしいと
いう意味。

5 ウ

6 例 だれもキャプテンをやると言わないところ。

7 セ



1 ガンちやん、「五年生の中から選んでくれや。」という言葉

2 を聞いて、「ぼく」は「じゃあ、吉野くんしかいないな。」と言つ

3 ています。

4 「そんなことまでやらされるんなら、やめちゃうぞ、といわんばかりのようす」から、「ぼく」からキャプテンに推せんされた

5 ことに、吉野くんがおこっていることが分かります。

6 「そんな意味で」は、吉野くんの言った言葉「こんなごたごたのめんどうまでみなぎならないのか」を指しています。

7 「ぼく」の気持ちが読み取れる部分に注目します。「どぎまぎして」→「なにもかも、もうどうでもいいや、というような、ひどく白々とした気分」に変わったとあります。吉野くんを推せんし

たのに、ひどい言い方でことわられたので、最初はおどろき、次にもうどうなつてもかまわないという気持ちになつたのです。

8 最後の「(どうして、みんな、『よし、やる!』って、いわないんだ!)」に、「ぼく」の気持ちが表されています。キャプテンが決まらなければ、ブラツク・キヤツトは解散になつてしまふのに、だれもキャプテンをやると言わないことにいらだつているのです。



1 ①の ②こうか ③さいしゅう ④せつとくりょく
5 けんちく・きょうみ ⑥ひょうか・まよ
7 じょうけん・せつてい

2 ②再 ③基本 ④救 ⑤過程

3 ⑦二酸化炭素・増加 ⑧移動・禁止

4 ①示 ②漢語 ③和語 ④球 ⑤過程 ⑥組織

5 ①急 ②車 ③指 ④市 ⑤球 ⑥究 ⑦二酸化炭素・増加 ⑧移動・禁止

6 ②漢語 ③和語 ④球 ⑤過程 ⑥組織

7 ①× ②○ ③○ ④△ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

8 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

9 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

10 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

11 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

12 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

13 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

14 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

15 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

16 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

17 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

18 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

19 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

20 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

21 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

22 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

23 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

24 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

25 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

26 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

27 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

28 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

29 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

30 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

31 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

32 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

33 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

34 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

35 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

36 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

37 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

38 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

39 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

40 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

41 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

42 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

43 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

44 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

45 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

46 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

47 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

48 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

49 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

50 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

51 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

52 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

53 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

54 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

55 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

56 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

57 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

58 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

59 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

60 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

61 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

62 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

63 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

64 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

65 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

66 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

67 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

68 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

69 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

70 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

71 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

72 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

73 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

74 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

75 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

76 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

77 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

78 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

79 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

80 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

81 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

82 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

83 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

84 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

85 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

86 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

87 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

88 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

89 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

90 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

91 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

92 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

93 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

94 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

95 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

96 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

97 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

98 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

99 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

100 ①● ②○ ③○ ④■ ⑤▲ ⑥● ⑦● ⑧○ ⑨○ ⑩○

学年末のテスト①



学年末のテスト②



- 品種改良の目的

①例じゅくしても粒が落ちないよう (改良した)。
〔または〕収穫しやすいように (改良した)。

②例いっせいに芽をだすように (改良した)。
利用できる・大きく、りっぱ

1 例いま、わたしたちが食べるものは、ほとんどない。
生産を高める

2 ①「じゅくしても落ちないように」改良してきたと説明されます。一段落目に「品種改良の目的は、なんだったのでしょうか」とあるので、「品種改良の目的」について述べようとしているところが分かります。

②「いっせいに芽をだすように改良しました」とあります。

3 六段落目に注目します。「野性種と栽培種の大きなかがい」について、「人間が利用できる部分が、野性のものよりも大きく、りっぱになっていてること」とあります。いまわたしたちが食べている野菜や果物は、食べられる部分をより大きく、よりおいしくしたものなのですね。

4 ニューギニアのジャングルのバナナは野性種です。この筆者の経験から、野性種は食べ物にならないと分かれます。

5 野性種のバナナの例の後に「もしも、このような改良がなかつたら、いま、わたしたちが食べるものは、ほとんどないといえます。」と筆者の考え方を述べています。

6 ③の例を挙げる前に、「生産を高めるためにも、さまざまな改良がおこなわれています。」と述べています。

1かい **2**えいきゅう **3**ぼうはん **4**ゆにゅう
5こうし・しどう **6**しようねんだん・ひき
7えいぎょう・りえき

1精力的 **2**平均 **3**災害 **4**燃 **5**事務 **6**損害保険
7消毒・習慣 **8**周囲・農耕地帯
1(順序なし) 王様・番組・本屋
2(順序なし) 場所・手順

1やおや **2**かわら **3**まいご **4**しみず **5**くだもの
6へた **7**めがね

1べんとうばこ **2**あかしんごう **3**ほそながい
4とびおきる

てびき

1「快」の訓読みは「こころよ（い）」です。送りがなにも注意して覚えましょう。**6**「率いる」は送りがなまでしつかり覚えておきましょう。

2①「精力的」とは、「気力、体力に満ちあふれた様子」という意味です。⑥「險」と「檢」の使い分けに注意しましょう。「險」には「危険」「冒険」などの熟語があります。「檢」には「検査」「検証」「点検」などの熟語があります。⑦「毒」、「慣」の「母」の部分を「母」と書かないように注意しましょう。

3「王様」の「王」、「本屋」の「本」は音読みです。「本屋」の「屋（や）」は訓読みで、音読みは「オク」です。「場所」の「場（ば）」は訓読みで、音読みは「ジョウ」です。「手順」の「手（て）」は訓読みで、音読みは「シユ」です。

5いくつかの言葉が結び付いて複合語になるとき、元の言葉と発音が変わったり、形が変わったりすることがあります。①「弁当」と結び付くことで、「箱（はこ）」の発音が「ばこ」に変化します。

実力判定テスト 答えとてびき

20 妻 19 貯 18 混ざる 17 歴史 16 因 15 属 14 告げる 13 移す 12 増減 11 液 10 領 9 測る 8 酸素 7 講演 6 貸す 5 採る 4 囲む 3 興 2 圧 1 団

40 眼 39 桜 38 賛 37 志す 36 義務 35 殺す 34 応 33 可燃 32 張る 31 際 30 堂 29 士 28 築 27 益 26 導く 25 確かめる 24 快適 23 経営 22 再 21 衛

60 毒 59 基 58 似る 57 救う 56 枝 55 幹 54 犯罪 53 得る 52 版 51 資 50 状態 49 制限 48 刊 47 支える 46 格 45 責任 44 謝 43 逆 42 河 41 統

80 非 79 質 78 寄る 77 判断 76 布 75 授 74 旧 73 肥やし 72 防災 71 序 70 比べる 69 修める 68 破損 67 飼う 66 紀 65 独り 64 師 63 準備 62 貧しい 61 慣れる

100 粉 99 賞 98 貿易 97 許す 96 招く 95 永久 94 武 93 述べる 92 居 91 婦 90 禁 89 編む 88 証 87 評価 86 報 85 総額 84 句 83 費 82 舎 81 喜ぶ

120 型 119 脈 118 豊か 117 性能 116 情け 115 職 114 險しい 113 仮設 112 墓 111 象 110 迷う 109 精 108 個 107 保護 106 均 105 暴れる 104 織る 103 境 102 仏 101 現在

140 139 接 138 輸 137 税 136 容 135 航 134 鉱 133 厚 132 繕 131 製造 130 夢 129 故 128 効 127 術 126 弁解 125 複雑 124 潔 123 略 122 祖 121 提示

158 銅 157 程 156 技 155 率いる 154 構え 153 常識 152 絶える 151 過ぎる 150 往復 149 像 148 効 147 財政 146 停留 145 檢査 144 余る 143 条件 142 規則 141 耕す

漢字リレー①

漢字リレー②

